

政策評価調書(24年度実績)

政策名	芸術・文化の興隆とスポーツの振興	政策コード	Ⅲ-2	関係部局名	企画振興部、福祉保健部、教育庁
-----	------------------	-------	-----	-------	-----------------

【Ⅰ. 政策の概要】

すぐれた芸術文化の鑑賞機会提供や文化活動の促進、次代の担い手づくり、県民の感性や創造性を高め、文化を核とした地域力を高める美術館の整備、文化財・伝統文化の保存と活用、身近な地域で誰もが自分のレベルでスポーツに親しめる環境づくりなどを進める。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	県民文化の創造	概ね達成	B
2	文化財・伝統文化の保存と活用	達成	A
3	県民スポーツの振興	概ね達成	B

【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

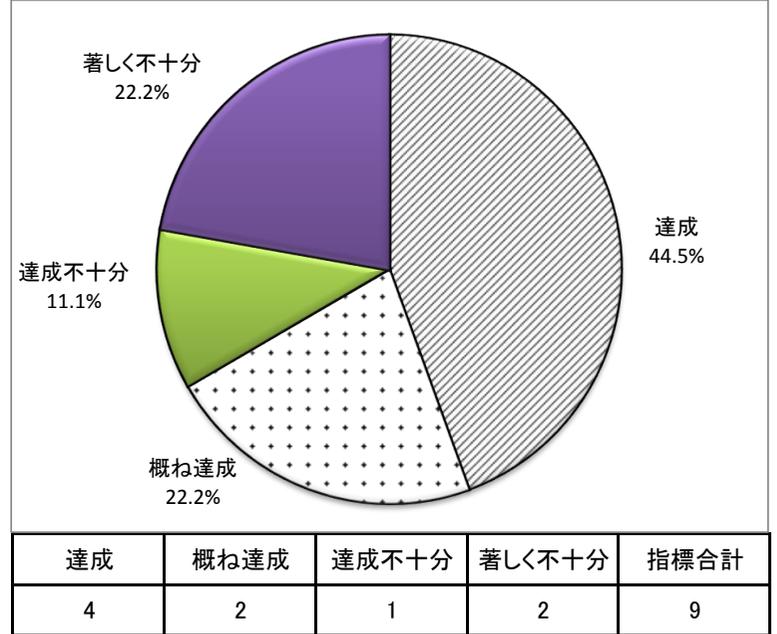
本県において、文化面では世界的なピアニストであるマルタ・アルゲリッチを迎えた「別府アルゲリッチ音楽祭」、 「大分アジア彫刻展」や「別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』」など、多様な芸術文化の取組が展開されており、スポーツ面では、プロスポーツクラブの活躍などにより、県民の文化・スポーツに対する関心は着実に高まりを見せている。

また、平成25年には高校生にとって最大のスポーツの祭典である全国高等学校総合体育大会(北部九州総体)が本県においても開催されたほか、27年春には本県の芸術文化の拠点となる県立美術館の開館が予定されており、県民の文化・スポーツに対する関心はさらに高揚していくことが予想される。

一方、過疎化・高齢化の進行等により、地域の伝統文化の保存と活用、継承や文化芸術活動の実施が困難になりつつある。

こうしたことから、今後は、文化・スポーツを取り巻く社会情勢を的確に把握し、それらの課題や社会ニーズに応じた芸術文化・スポーツの振興施策や環境整備を積極的に展開していくことが必要である。

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
県民芸術文化祭(主要行事・参加行事)参加者数	67.4%
<著しく不十分となった理由> 行事数、入場者数は、前年度を大きく上回ったが、7月豪雨災害等の影響により、行事への参加者数(出品数等)は、前年度に引き続き、3万人を割り込んでいる。	
プロスポーツチームの県内開催試合の平均観客動員数(人/年)	70.5%
<著しく不十分となった理由> 平均観客動員数に大きなウエイトを占める大分トリニータホーム戦観客数が、J2リーグ戦ということもあり伸び悩んだことによる。引き続き、各チームでは、魅力あるチームづくりと試合前イベントの実施など観客増への取組に努めていく。県としても県内各地のイベントや学校等に選手を派遣し、チームや選手を身近に感じてもらい、応援する機運を高めていきたい。	